

## 令和4年度に実施予定の協定に基づく主な取組み

### 1. 魅力と活力にあふれる未来のまちづくりに関すること

#### ◆eスポーツ体験イベントの開催

千葉市とビックカメラは、地域経済の活性化や健康長寿社会、共生社会の実現に向けた活用が期待されている「eスポーツ」普及のための体験イベントを、千葉駅前店等で協力して開催します。（市外店舗との対抗戦の実施も検討しています。）

#### ◆電動キックボード試乗・安全運転啓発イベントの開催

千葉市とビックカメラは、環境負荷の低い移動手段として注目され、千葉市が公道での実証実験を実施している「電動キックボード」普及のための試乗・安全運転啓発イベントを、千葉駅前店等で協力して開催します。

### 2. 千葉市の広報・広聴に関すること

#### ◆千葉駅前店への千葉市情報コーナーの設置（開店と同時実施）

ビックカメラは、千葉駅前店内に千葉市情報コーナーを常設し、デジタルサイネージ等を活用して、市の施策やイベント等を広報・PRします。

#### ◆千葉市政令指定都市移行 30周年のPR（開店と同時実施）

ビックカメラは、千葉市の政令指定都市移行 30周年を、千葉駅前店開店の際のチラシや記念ノベルティ配布、「30」にちなんだ特別価格商品の販売等を通じてPRします。

#### ◆「ちばレポ（My City Report）」（※1）への協力

ビックカメラは、「ちばレポ」の趣旨に賛同し、「ちばレポ」を通じた地域課題の発見や解決に協力します。

### 3. 地域の安全・安心及び災害対策に関すること

#### ◆防災意識の普及・啓発イベントの開催

千葉市とビックカメラは、市民の防災意識向上のため、地震・火災・風水害など様々な災害に関する啓発イベントを、ビックカメラ千葉駅前店等で協力して開催します。

#### ◆災害発生時の市内被災者支援（開店と同時実施）

ビックカメラは、千葉駅前店に水・食料、その他防災用品等を備蓄し、災害発生時に優先的に千葉市へ供給します。

### 4. 環境の保全に関すること

#### ◆ごみ減量のための「ちばルール」（※2）への協力（開店と同時実施）

ビックカメラは、ごみ減量のための「ちばルール」に基づき、「ごみの発生抑制」や「再資源化の促進」、「環境への負荷の低減」に取り組みます。

#### ◆九都県市省エネ家電買替キャンペーンのPR（開店と同時実施）

ビックカメラは、本年12月31日まで実施されている「九都県市省エネ家電買替キャンペーン」の対象となる商品を店舗内で明示するなど、当該キャンペーンのPRを行います。

#### 5. 子育て・青少年育成の支援に関すること

ビックカメラ千葉駅前店での「二十歳のつどい（成人式）」当日の撮影会実施等を協議中。

#### 6. 文化、スポーツ及び観光の振興に関すること

ビックカメラ千葉駅前店での千葉市産いちご販売会の実施等を協議中。

#### 7. 市民の健康・福祉の増進に関すること

ビックカメラ千葉駅前店での健康・福祉に関する市の相談会等実施等を協議中。

#### 8. その他、本協定の目的達成に資すること

団地活性化のためのイベント等への、ビックカメラの出展等を協議中。

※1 「ちばレポ（My City Report）」は、千葉市内で起きている様々な課題（たとえば道路が傷んでいる、公園の遊具が壊れているといった、地域での困った課題、これらを「ちばレポ」では「地域での課題」といいます。）を、ICT（情報通信技術）を使って、市民がレポートすることで、市民と市役所（行政）、市民と市民の間で、それらの課題を共有し、合理的、効率的に解決することを目指す仕組みです。

※2 ごみ減量のための「ちばルール」は、資源循環型社会を築く担い手である市民・事業者・行政（千葉市）の三者がそれぞれの役割と責任のもと、自主的な取組みや相互の連携と協力を深め、千葉市の地域特性を踏まえた「ちば型」の資源循環型社会を実現するために、自発的・発展的な資源循環型社会システムを構築するためのものです。法的な規制による強制力を伴わない自主ルールとして定められており、市民・事業者・行政の三者がそれぞれの役割と責任のもと、協働していくべき行動指針となっています。